

かいらん
れいわ ねん がつ
令和8年8月

社協通信

発行者：湯浅町社会福祉協議会（湯浅町栖原126）
TEL：0737-63-5175
FAX：0737-63-3304
Web：https://www.yuasa-shakyo.or.jp/



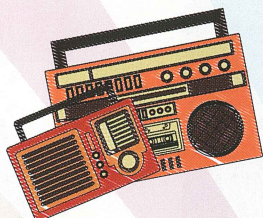
～老人大学社会見学～

7月1日（水）、大阪方面で社会見学を開催し、
講師先生や生徒さん78名が参加されました。

「大阪くらしの今昔館」でノスタルジックな町並
みや暮らしの見学、「梅田呉服座」では華やかな
大衆演劇を堪能され、普段とは違う教室の皆さん
とも交流でき、充実した1日を過ごしました。



@大阪くらしの今昔館



@梅田呉服座



@大阪くらしの今昔館



@黒門市場



地域ふれあいサロン

ってどんな所？

住民さんの自主的な活動で、誰でも気軽に集まり、お茶会や得意
を活かした楽しい時間を過ごすことで、健康や介護予防、閉じこも
り予防につながる交流の場です。

地域ふれあいサロンを活用することで、サロンを運営する側も参
加する側も生きがいをもち、住民同士が「つながり」「お互い様」の
関係性が育まれています。

どなたでも
お気軽に
ご参加ください！



楽しい時間



わきあいあい



支え合い



介護予防

にん ち しょう

認知症サポーター

ってどんなことしてるの？

～自分たちにもできる事を考える～

認知症サポーターは特別なことをする人ではありません。

認知症を学び、みんなで考え、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者(サポーター)」です。サポーター養成講座では小学生や地域の商店、生活関連企業など多くの方々に、認知症について正しく理解してもらうとともに、自分たちにもできることを考えてもらっています。

わたしたち社協職員も、キャラバン・メイト(サポーターの育成を担う役割)として包括支援センターを中心に介護事業所や関係団体のみなさんと協働しながら、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに取り組んでいます。

これらからも、誰もが自分らしく安心して未来を描けるよう、みなさんも一緒にサポーターになりませんか。

紙芝居
「大好きなおばあちゃん」

in 田村小学校

自分たちができること
って何だろう？

in 民生児童委員

自分ごととして
認知症を理解する

in 見守り協力店

認知症サポーターの証
「オレンジリング」！

in 山田小学校

in 高齢者安心・安全
ネットワーク協議会

認知症サポーターに関することは…

湯浅町地域包括支援センター

お問合せ：64-1120

お気軽にご相談ください。

しんぱい そうだんしょ かいせつ 心配ごと相談所の開設について

とき：令和8年9月1日（火）

午前9時30分～11時30分

ところ：湯浅町地域福祉センター



※事前予約は8月10日（月）からの受付となります。

※当相談所の規定に基づき秘密は厳守致します。

※相談費用は無料です。

※お申し込み・お問い合わせは湯浅町社会福祉協議会までお願いします。

しんぱい そうだん 心配ごと相談とは・・・

湯浅町社会福祉協議会から委嘱を受けた「心配ごと相談員」のみなさんが
日常生活における相談をお受けします。

相談内容によって、各関係機関と連携しながら問題解決に努めます。

こんご よてい 今後の予定について

8月 5日（水）あいうえおサロン（地域福祉センター）

23日（日）「子ども食堂」

しらゆりキッチン（地域福祉センター）

28日（金）老人大学（総合センター）

9月 1日（火）心配ごと相談（地域福祉センター）

9日（水）あいうえおサロン（地域福祉センター）



ゆあさ びょういん
湯浅おもちゃ病院
しんりょうび あんない
診療日のご案内

8月23日（日）
午前11時～午後2時

場所：地域福祉センター2階
料金：無料（部品代は実費）





さいがい そな ちいき 災害に備える地域のつながり さいがい し ～災害ボランティアセンターって知っていますか？～

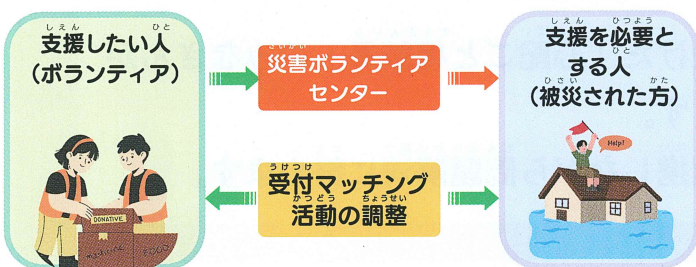


近年、台風や豪雨、地震などの自然災害が全国各地で発生しています。
災害が起きたとき、被災地の復旧・復興には、地域のみなさんの支え合いが欠かせません。
湯浅町社会福祉協議会では、災害時にスムーズに支援活動が行えるよう、「災害ボランティアセンター」の体制づくりや、日頃からのつながりづくりに取り組んでいます。

① さいがい 災害ボランティアセンターとは？

災害ボランティアセンターは、災害時に設置される、支援したい人と支援を必要としている人をつなぐ拠点です。

さいがい やくわり 災害ボランティアセンターの役割（イメージ）

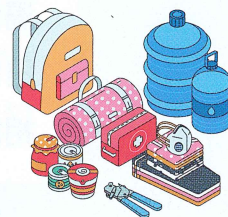


家の片付けや泥だし、物資の運搬、見守り、話し相手など、さまざまな支援活動を調整し、円滑に行うための大切な役割を担います

② へいじょう じ そな 平常時からできる備え

災害はいつ起こるかわかりません。
だからこそ日頃からの備えが大切です

- ✓ 近所とのあいさつや声かけで、つながりをつくる
- ✓ 非常持ち出し品や避難場所を確認しておく
- ✓ 防災訓練や研修に参加して、知識を深める



日頃のつながりや小さな備えが、災害時に大きな力になります。

③ こんな活動をしています (研修・訓練の様子)

湯浅町社協では、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練や、関係機関と連携した研修を定期的に行っています。



運営訓練の様子

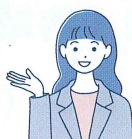
防災デイキャンプ

関係機関と連携した研修

④ じぜん とうろく あんない 事前ボランティア登録のご案内

湯浅町社協では地域とのつながりを平時からつくり、災害時の支援活動が迅速かつ安全に始められるように、事前ボランティア登録者さんを募集しています。
登録者には災害時の活動案内や、研修・訓練案内などの情報を提供させていただきます。

- 対象：湯浅町内在住・在勤・在学の方
- 内容：災害時の支援活動、研修・訓練への参加など
- 申込方法：QRコードから、または社協窓口まで



あなたの想いを災害時の「力」に変える事前登録制度です。



▲登録はこちらから▲

災害がなくても支え合い、励まし合い、災害が起きた時には助け合う。
「思いやり」や「つながり」が未来の地域を守ります。
これからも、みんなで支え合える湯浅町を目指していきましょう。

お問い合わせ

湯浅町社会福祉協議会（ボランティアセンター）
☎ 0737-63-5175